

みはらのたから

三原で輝く若者たち

2歳上の兄の影響もあって幼い頃から音楽に親しみ、4歳からピアノを始めました。令和5年から2年連続で中四国エリア唯一の代表に選出され、全国コンクールに出場。大舞台でも「緊張するというより、ワクワクします。大きな舞台で演奏することがとても楽しい」と目を輝かせます。

課題曲を繰り返し弾く練習をつらく感じたことも。そんな時に家族に迎えたのが文鳥でした。今でも文鳥との触れ合いは気分転換になり、練習にも励めています。「ピアノを続けながら、いろいろなことに挑戦したい」と笑顔で話してくれました。

私が大切にしている
“文鳥のぬいぐるみ”



全国コンクールにも連れていき、気持ちを落ち着かせるお守りになっている。

ピアノコンクール全国大会
中四国代表

三原市立西小学校6年生
もみ あおは
茂見 葵葉さん

休日は1日5時間ピアノの練習に取り組む。今はまっていることは、友だちとレジンでキーホルダーを作ること。



中四国代表の大舞台
緊張より、ワクワクします



小学3年生の時に大きな賞を受賞したことが自信につながり、練習にも前向きになれたそう。

